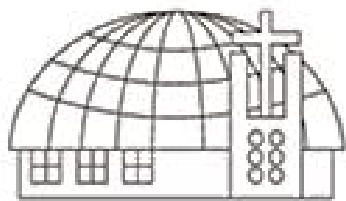


9月報(2020年) 萌 カトリック福山教会



福山教会活動テーマ：

「喜びをもっていのちをもたらず福音を社会に伝えよう」

〒720-0808 福山市昭和町 7-26
☎【084】923-0614 FAX【084】923-0615
e-mail : fuku-ch@ktd.biglobe.ne.jp



堅信を受けて

樽谷 和紗

堅信というのは勉強をしてもよく分かりませんでした。神様からのお恵みのようなので、神様に感謝して、プレゼントしていただいた本を読んで理解していこうと思います。

ご結婚おめでとうございます



8月7日(金)に沖山悟さんと大内徳子さんの秘跡の結婚式がありました。

神様の豊かな祝福の中、末永くお幸せに…❤️

・ 8月8日（土）福山空襲追悼

福山市からの要請で、正午に市内一斉に鐘を鳴らすことになりました。

騒音問題で鐘を鳴らすことはあまりなかったのですが、今回は平和を願って神父様の力強い鐘の音が1分間鳴り響きました。



・ 8月9日（日）長崎原爆記念日に鐘をならしました。

野田さんのFB記事から

8月8日は福山空襲の日。というわけで、教会で少し喋らせてもらいました。と言っても、「福山のかかわった戦争」という視点で、今回は現在の教会の敷地内に遺された陸軍歩兵41連隊司令部の門柱、そして41連隊の終焉となったフィリピン・レイテ島での戦闘を、その碑文から拾い出して、紹介しました。驚くべきは、ニューギニアでの戦闘で壊滅寸前となった連隊が、なんとピョンヤンで再編されていたということ。もはや福山出身の兵士はごく少数であったろうし、少なからぬ朝鮮人が日本兵として死地に赴いたことが想像されます。どれくらいの朝鮮人が帯同してそして命を落としたのか。今回調べる事が出来ませんでした。



2020年8月8日 福山空襲追悼集会

「平和」伊藤

1945年の敗戦から75年。今年は新聞もテレビも大きな節目を迎えたことを報道しています。例えば広島の被爆証言をする人も高齢化し、いよいよ直接体験者が年ごとに減っていくという現実の中で、戦争体験をどのように継承していくのかということ問いかけています。そのような状況の中で、私たち福山に関係するものとして福山空襲があったことを忘れてはなりません。この空襲はどんなものであったのか、その結果爆弾の下でどのようなことが起こったのか、この戦争とは何だったのか私たちは知る努力をし、想像力もつかいながら未来の日本の道筋を考えるために振り返らねばなりません。

8月8日（土）夕方のミサ後に追悼の小さな集会を持ちました。主に野田さんがフィリピンレイテ島ミンダナオ島と福山41連隊の関係を映像を使って説明しました。集まった人数は少なかったのですが、継承という視点から今後も是非続けて行きたいと思います。

マキシミアノ・マリア・コルベ猪口神父様

～霊名のお祝い～

8月14日が祝日ですが、日曜学校終業式に合わせて、この日にお祝いをしました。



【侍者デビュー】

やまぐちねね

わたしは、はじめて じしゃをしてみて 思ったことがあります。思ったことは、じしゃは、いろんな しんぷさんのおてつだいが、いろいろあって みるのとは、ぜんぜん ちがうことが分かった。

今年の墓地ミサに参加して考えたこと

大塚 陸雄

7月の最後の日曜日、午前7時から墓地ミサがありました。この日の天気予報は雨でしたが、前日の夜の間には雨は止み、午前6時には晴れ間も見えていました。そのためミサ前には約40人の人がすでに集まっていました。ところがミサの直前になって急に雨が降り始めました。急いでテントを立て、初めて雨の中での墓地ミサを体験しました。ミサの間中雨が降っていました。これは近年の異常気象と関係のないことではないでしょう。今年、4月の墓地ミサは「緊急事態宣言」の中、中止になりました。次回は11月の予定ですが、その時には無事できるのか、何か予想もしない状況になるのか、全く予断が許されません。今年の1月に2020年がこのような年になると誰が想像できたでしょうか。墓地自体もここ数年イノシシの被害に悩まされています。これら一見全く関係ないように見えるいくつかの現象も考えていくと、自然が私たちに非常に大きな警告を発していると思わざるをえません。今まで人類が掲げてきた経済発展至上主義が行き詰まって来ている、いや、すでに破綻が始まっているのではないかと思えるのです。それにも関わらず、多くの国のリーダーは、いまだに経済第一の政策を打ち出し、実行しています。これらのリーダーや政策を後押しする多くの人々が存在しているということでしょう。数年前までは、「もう昔のような不便な生活には戻れない」という発言をよく聞いたし、私自身もそうだなと思っていました。しかし、今こういう考え方を社会全体が変えていかないといけない転換期にきているのではないかと思います。「新しい生活様式」といわれているような生活様式だけではなく社会構造自体を変えないといけないのでは



ないか、すなわち経済発展に代わる新たな価値観による社会の再構築が必要なのではないかと思うのです。そのためには、「自然との共存・共生」が大きなキーワードになって来ると思っています。墓地ミサからかなり飛躍してしまいましたが、11月の墓地ミサはいつも通りにできることを願っています。

南相馬便り ⑩2020年8月 援助マリア修道会南相馬修道院 北村令子

はや八月、そちらは猛暑の日々でしょうか？学校は夏休み返上でお勉強の日々でしょう。高校3年生にとっては、大学入試の変更等で不安が大きいことでしょう。人類史の中で、この時代に居合わせたことは、何か大きな役目をいただいた私たちではないでしょうか。そう思うと日々をおろそかにできないのだと、気を引き締めて善く生きることを心掛けたいと思います。



コロナ禍で、どんなに多くの方が苦しみ、生活の安定を壊されたことでしょう。でも、どんなに多くの善意の方がその志を示してくださったことでしょう。

カリタス南相馬の近くの災害復興団地で、孤独死という大変な出来事がありました。震災によって自分のうちに帰れない人々のためのアパートが5棟(500世帯が入居可)あり、今まで広い庭があり、周りは田んぼでのどかな環境で過ごされていた方が、四角い箱のようなアパートの一室に詰められて、周りの人と挨拶をすることもな

く、気持ちが沈んでいくのは当たり前でしょう。「隣の人は何する人ぞ。」の文字通りのことがここでは現実なのです。自治会長さんが心配りをよくしておられても、何しろ大勢の人で、なかなか目が届かないこともあるようです。

全国から寄せられた善意の支援物資(日持ちのするレトルト食品とか、インスタント食品など)を、小高の2か所の復興住宅と原町の3か所の住宅に配るお手伝いをさせていただきました。

コロナで長い間戸別訪問ができなかったのですが、少し緩和されて玄関先でお渡し出来たり、ポストに入れてきたり、時間を決めて集会所に取りに来ていただいたり、出来るだけ顔と顔を合わせて、言葉かけをしながらお渡しできる

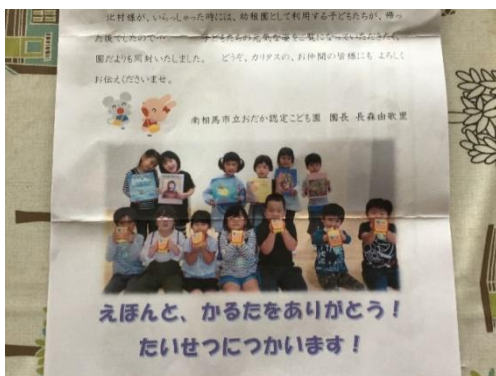


ように配慮しました。一日誰ともお話ししないという方が結構いらっしゃいます。団地訪問の写真は、カリタス南相馬のHPで見てください。私の撮った写真はよくなかったので。

小高にある「南相馬市立おだか認定こども園」に、カリタス南相馬の倉庫にあった絵本などを届けに行きました。玄関の受付しか見ませんでしたが、新しい園舎でとても明るい感じでした。後日、園から子供の様子を撮った写真が



送られてきました。現在子供は0歳～6歳で46人いるそうです。意外と多いと思ったら、南相馬市で認定こども園は、この小高の子供園だけで、遠くは鹿島区からも来ているとのこと。園長先生はとても話しやすい方でした。少しご自分の体験を話してくださいました。「震災の時、本当に怖かったです。家族は避難しましたが、私は市の職員ですから避難しませんでした。県外に避難した人は、南相馬から来たというと、放射能がうつると言っていて、差別されたりいじめられたり、本当に大変な事でした。自分の保育士の仕事は出来なくなりました、みんな避難して子供がいないのですから。それでいろんな申請の事務とか大変な仕事が降りかかってきました。もう幼稚園が再開できるとは思っていませんでした。でもこうして今、子供たちが来てくれて本当にうれしいです。」と。本来保育園は朝7時から午後7時までですが、ここ南相馬は保育士が不足していて（既に10年経つので、若い人は避難先で就職して帰って来ない）7



時まで保育できないのです。このため南相馬市は保育士を全国から募集しています。詳しくはわからないのですが、移住のための費用、借家の敷金の補助等かなりの優遇措置をしているようです。どなたか南相馬で保育士をしてくれる人はいませんか？お知り合いの方にご紹介ください。カリタス南相馬と同じ敷地にある、カトリックさゆり幼稚園も先生を探しています。

いろいろな方とお会いする度に、一人一人違った痛みを抱えておられると感じます。一人一人指紋が違うように!!

もっともっとお伝えしたい事はありますが、今回はここまでとします。

「聖書の書き写しリレー（旧約）」教区からのお知らせ・依頼

養成

教区創立100周年に向け、「聖書に親しむ」「教区の一致のしるし」を目標に2018年に開始された「聖書の書き写しリレー」は、昨年新約部分が完成しました。皆様のご協力に感謝いたします。引き続き聖書全巻を完成させるべく旧約部分にも取り組んでまいりたいと思います。

○旧約聖書書き写し概要

- ・実施期間：220年9月27日～2022年11月
→福山教会2020年11月1日～11月7日
- ・書き写し箇所：旧約 全1105章
→創33～50 出1～4 （ページ数57～98）

○書く要領、注意点などについての詳細は後日養成からいたします

以上、ご協力をよろしくお願い致します。

【訃報】

7月18日にパウロ秋山秀治さん（73歳）が帰天されました。
神様の御元で安らかに憩われますように…アーメン。

9月・10月の行事予定

9 月		10 月	
6 (日)	被造物を大切にする世界祈願日	16 (金)	教区召命合同祈りの集い (山口)
20 (日)	教会敬老会	18 (日)	世界宣教の日
21 (月)	「広島教区の日」 (中止) 金銀祝→別の機会に	24 (土) 25 (日)	備後協働体研修 (中止)
27 (日)	世界難民移住移動者の日		



【投稿依頼】

皆さま、ご承知の通り福山教会に2018年3月から月報が出されるようになりました。これは、従来の週報では伝えきれない教会の大切なこととお知らせしようとするものです。併せて、これは、私たち信者の交流を図るものですから、広く皆さまの信仰体験、行事の感想、思い等を募集しています。お待ちしております。書くこと、読むことにより私たちの信仰を広げ、深めましょう。

月報作成委員会